

〔續日本後紀三〕承和元年八月辛巳日。三上明仁爲先太上天皇嵯峨。及太皇太后橘嘉智子置酒於冷然院。上奉白玉卮。伶官奏樂。令源氏兒童舞于殿上。極歡而罷。

〔徒然草上〕よろづにいみじくとも、色このまざらん男は、いとさうぐしく、玉のさかづきのそこなき心ちぞすべき。略下

〔文選四〕三都賦

且夫玉卮無當、雖寶非用、

〔東大寺正倉院御寶庫御開封記錄〕御寶物目錄

一 瑪瑙杯 一

〔源氏物語四十九〕宮の御かたより、ふすくまゐり給、ぢんのおしき四、えたんのさかづき、ふちのむらごのうちしきに、おり枝ぬひたり、白かねのやうき、るりの御さかづき、へいじはこんるりなり、

略下

〔陰涼軒日錄〕文明十六年十月十七日、次謁西御所、同致禮謝、獻以七寶瑠璃盃。略下

〔東大寺獻物帳〕犀角杯 一白、一黒、

〔觀世音寺資財帳〕嘉保口年寶藏實錄日記

第一韓櫃 犀角坏壹口

前帳云、口缺三所各一分者、寛治六年帳云、今檢同前、

〔節用集大全〕器財一鼈ベツ甲こづ作く蓋の。

〔三代實錄三十一〕元慶元年六月廿五日甲午、渤海國使楊中遠、自出雲國還於本蕃、王啓并信物不受、而還之、大使中遠欲以珍翫玳瑁酒盃等奉獻天子、皆不受之、

〔江家次第十七〕御元服